

T O Y O K N I F E C O . , L T D .



東洋刃物株式會社

2017年3月期 第2四半期決算説明会

2016年12月6日

証券コード：5964

# 目次

1. 当社について	.....	2
2. 2017年3月期 第2四半期業績概要	.....	7
3. 中期経営計画の進捗	.....	15
4. 2017年3月期 業績予想	.....	20
5. 株主還元	.....	22
6. 新製品のご紹介	.....	24

# 当社について

## 会社概要

設 立	1925年8月9日
本社所在地	宮城県富谷市富谷日渡34番地11
代 表 者	代表取締役社長 高橋 允
事 業 内 容	情報産業用刃物、鉄鋼用刃物、製紙パルプ用刃物、製本用刃物、合板用刃物、その他の工業用機械刃物、産業用機械・部品の製造・販売及び緑化造園
主要取引先	新日鐵住金、JFEスチール、THK、三井精機工業、日東電工、タツモ
従 業 員	251人（正規従業員）
上場取引所	東京証券取引所（第二部）
発行済み株式数	1,577,300株
主 な 株 主	地域中核企業活性化投資事業有限責任組合、七十七銀行、常陽銀行、自社従業員持株会、みずほ信託銀行、仙台ビルディング、大同特殊鋼、仙台放送、日本高周波鋼業

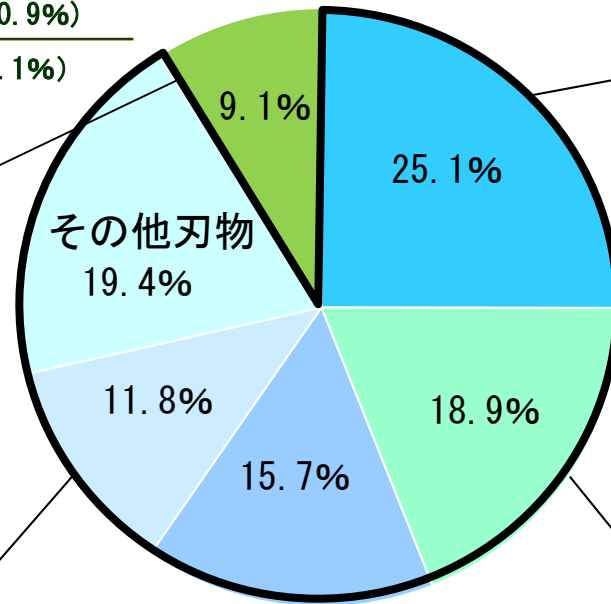
2016年9月末現在

# 沿革

年 月	概 要
1925年8月	各種工業用刃物の国内生産を目的として、東京市麴町で設立（資本金30万円）。
1925年9月	仙台工場落成。
1937年5月	大阪に第二東洋刃物設立後、10月に吸収合併、大阪工場として稼働開始。
1947年7月	本社を仙台市米ヶ袋に移転。
1960年10月	多賀城工場（宮城県多賀城市）を新設。
1961年11月	東京証券取引所 市場第二部上場。
1961年11月	株式会社トオハ設立。
1967年11月	熱研工業株式会社設立。
1970年8月	富谷工場（宮城県富谷市）を新設。
1973年7月	東洋緑化株式会社設立。
1976年12月	合併にて韓国に東洋鋼業株式会社を設立。
1977年9月	大阪・多賀城・富谷各工場の充実のため、仙台工場を売却。
1977年9月	本社を仙台市港四丁目に移転。
1978年3月	資本金を5億円に増資。
1997年4月	富谷工場を増設。
2004年1月	中国現地法人 上海東優刃物国際貿易有限公司設立。
2011年7月	東日本大震災により被災したため、本社を宮城県富谷市に移転。
2012年2月	大阪工場を富谷工場へ移転。富谷工場の一事業所として多賀城工場の操業を一部再開。（多賀城事業所）
2016年3月	地域中核企業活性化投資事業有限責任組合と資本業務提携。

# 事業構成及び主要製品

2016年3月期売上高	4,910百万円	(100%)
機械刃物及び機械・部品	4,461百万円	(90.9%)
緑化造園	448百万円	(9.1%)



## 緑化造園



- ・ 造園工事
- ・ 管理受託業務
- ・ 法面工事
- ・ 土木工事
- ・ 建築工事

## 製紙パルプ・食品用刃物



段ボールカッター

- ・ ダンボールの加工工程のなかで使用



ミートスライサー

- ・ 食肉の薄切りスライスに使用

## 鉄鋼用刃物



シャープブレード



超硬サイドトリマーナイフ

- ・ 各種鋼板等の切断に使用



メカニカルエキスパンドダイス

- ・ 石油や天然ガスを輸送する鋼管の加工

## 情報産業用刃物



スリッターナイフ (ケーブルタイプ)

- 高い精度を要求される電子部材等の切断・加工に使用



スリッティングユニット

- (用途)  
スマートフォン  
タブレット  
液晶テレビ  
磁気テープ  
などの部材加工



高精度移動式ホルダー



コーティングダイ

## 産業用機械及び部品



刃付平面研削盤

- ・ 工業用刃物を研ぐ機械



スライドウェィ

- ・ 工作機械の摺動面に使用する部品



# 当社グループの概要

● : 生産拠点  
■ : 販売拠点

## 【韓国】

東洋鋼業株式会社  
(持分法適用関連会社)  
✓韓国市場向け製造・販売

## 【中国】

上海東優刃物国際貿易有限公司  
(連結子会社)  
✓中国市場向け販売

## 【マレーシア】

クアラルンプール支店、シブ事務所  
✓東南アジア・オセアニア地域市場向け販売

## 国内拠点

● 生産拠点	主要生産品
富谷	情報産業用・鉄鋼用・製紙パルプ用各種刃物、産業用機械・部品、その他
多賀城	産業用機械・部品、合板用刃物、その他

■ 販売拠点	販売エリア
仙台	東北・北関東（一部）
東京	東京・関東・甲信越・静岡（一部） ・北海道・海外（アジア、その他）
名古屋	東海・北陸・近畿（一部）
大阪	近畿・四国・中国（一部）
広島	中国・九州・四国（一部）

連結子会社	事業内容
(株) トオハ	国内市場向け工業用機械刃物の製造・販売
熱研工業(株)	国内市場向け工業用機械刃物の製造・販売
東洋緑化(株)	緑化造園工事

# 2017年3月期 第2四半期業績概要



## 2017年3月期 第2四半期 決算概要

- ✓主力の情報産業用刃物の伸び悩みがあったものの、産業用機械及び部品が新規顧客需要を取り込んで好調に推移。売上高は前年同期比6.5%増の2,532百万円。
- ✓売上高の増加に加え、販売費及び一般管理費抑制等により、営業利益は前年同期比11.7%増の114百万円。
- ✓シンジケートローン組成等に係る費用を計上したことにより経常利益50百万円。

単位：百万円

	2016年3月期 第2四半期		2017年3月期 第2四半期 期初計画		2017年3月期 第2四半期				
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	前年同期		計画 達成率
							増減額	増減率	
売上高	2,377	100.0%	2,480	100.0%	2,532	100.0%	155	6.5%	102.1%
売上原価	1,768	74.4%	—	—	1,884	74.4%	116	6.6%	—
売上総利益	608	25.6%	—	—	647	25.6%	38	6.4%	—
販売費及び一般管理費	506	21.3%	—	—	533	21.1%	27	5.3%	—
営業利益	102	4.3%	110	4.4%	114	4.5%	11	11.7%	104.0%
経常利益	82	3.5%	55	2.2%	50	2.0%	△31	△38.4%	92.2%
親会社株主に帰属する四半期純利益	66	2.8%	50	2.0%	36	1.4%	△30	△45.6%	72.1%
一株当たり四半期純利益（円）※	66.41		50.11		22.87				

※2016年3月31日付で577,300株の第三者割当増資を行っております。

# 業績推移

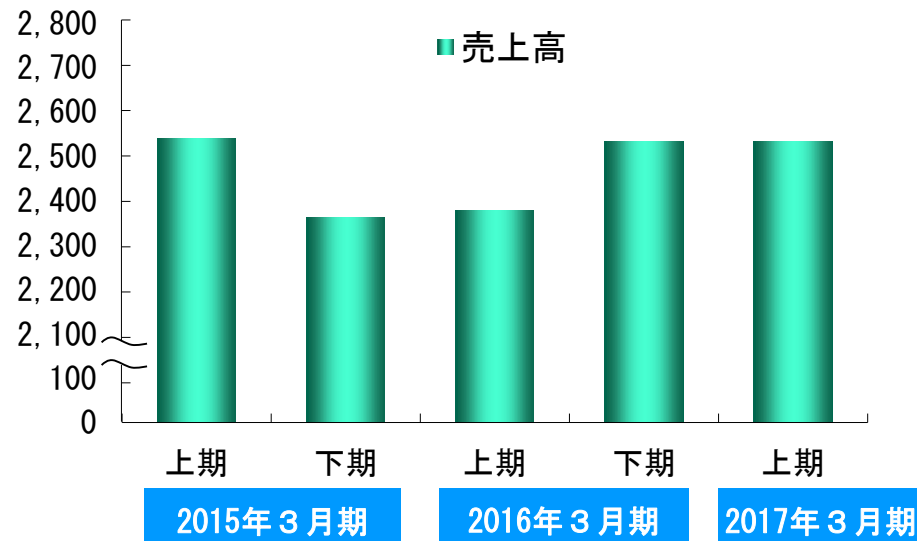
単位：百万円

	2015年3月期		2016年3月期		2017年3月期		
	上期	下期	上期	下期	上期計画	上期	計画達成率
売上高	2,540	2,361	2,377	2,533	2,480	2,532	102.1%
営業利益	183	98	102	159	110	114	104.0%
経常利益	162	78	82	102	55	50	92.2%
親会社株主に帰属する四半期純利益	131	55	66	73	50	36	72.1%
一株当たり四半期純利益（円）※	13.13		66.41		50.11	22.87	

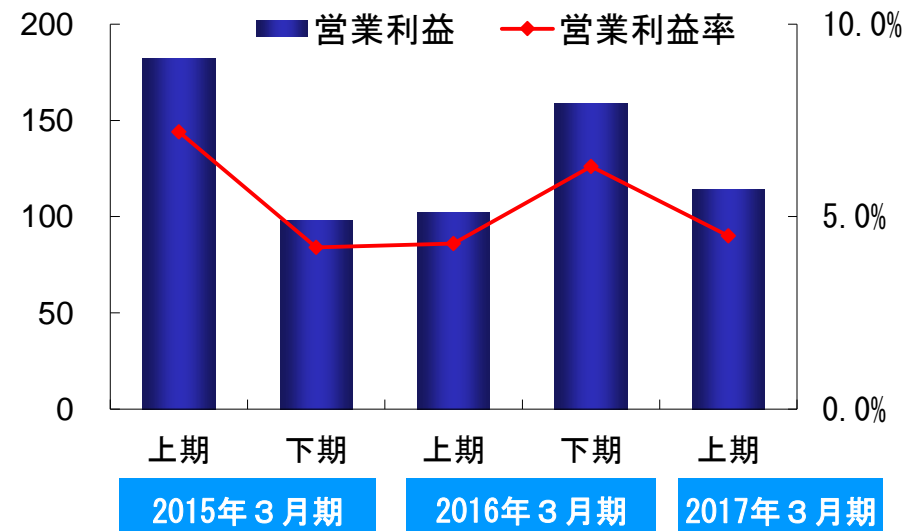
※2015年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。

※2016年3月31日付で577,300株の第三者割当増資を行っております。

単位：百万円



単位：百万円



## 2017年3月期 第2四半期 用途別売上高及びセグメント利益

### ✓機械刃物及び機械・部品

【売上高】主力の情報産業用刃物の伸び悩みがあったものの、産業用機械及び部品が新規顧客需要を取り込み2.9%増。

【セグメント利益】売上高の増加により前年同期比5.8%増。

### ✓緑化造園

【売上高】管理業務、造園工事を中心として好調に推移し47.2%増。

【セグメント利益】売上高の増加により前年同期比246.9%増。

単位：百万円

	2016年3月期 第2四半期			2017年3月期 第2四半期						
	売上高		セグメント利益	売上高				セグメント利益		
	金額	構成比	金額	金額	構成比	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
機械刃物及び機械・部品	2,184	91.9%	240	2,248	88.8%	64	2.9%	254	13	5.8%
情報産業用	625	26.3%		566	22.4%	△58	△9.4%			
鉄鋼用	356	15.0%		371	14.7%	15	4.2%			
製紙パルプ用	278	11.7%		292	11.5%	13	4.9%			
産業用機械・部品	434	18.3%		552	21.8%	118	27.2%			
その他	488	20.6%		465	18.4%	△23	△4.8%			
緑化造園	192	8.1%	7	283	11.2%	91	47.2%	24	17	246.9%
合計	2,377	100.0%	247	2,532	100.0%	155	6.5%	279	31	12.8%

## 2017年3月期 第2四半期 地域別売上高

- ✓ 【日本】 産業用機械及び部品が好調に推移したほか、製紙パルプ用刃物や鉄鋼用刃物も堅調であったことを受け、売上が増加。
- ✓ 【海外】 東南アジアは産業機械及び部品の売上が増加、中国は景気減速の影響により微減。

単位：百万円

	2016年3月期 第2四半期		2017年3月期 第2四半期			
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
日本	2,150	90.5%	2,275	89.9%	124	5.8%
除く緑化造園	1,958	82.4%	1,991	78.7%	33	1.7%
海外	226	9.5%	256	10.1%	30	13.5%
東南アジア	111	4.7%	136	5.4%	24	22.2%
中国	83	3.5%	79	3.1%	△4	△5.0%
その他	31	1.3%	41	1.6%	10	32.1%
合計	2,377	100.0%	2,532	100.0%	155	6.5%

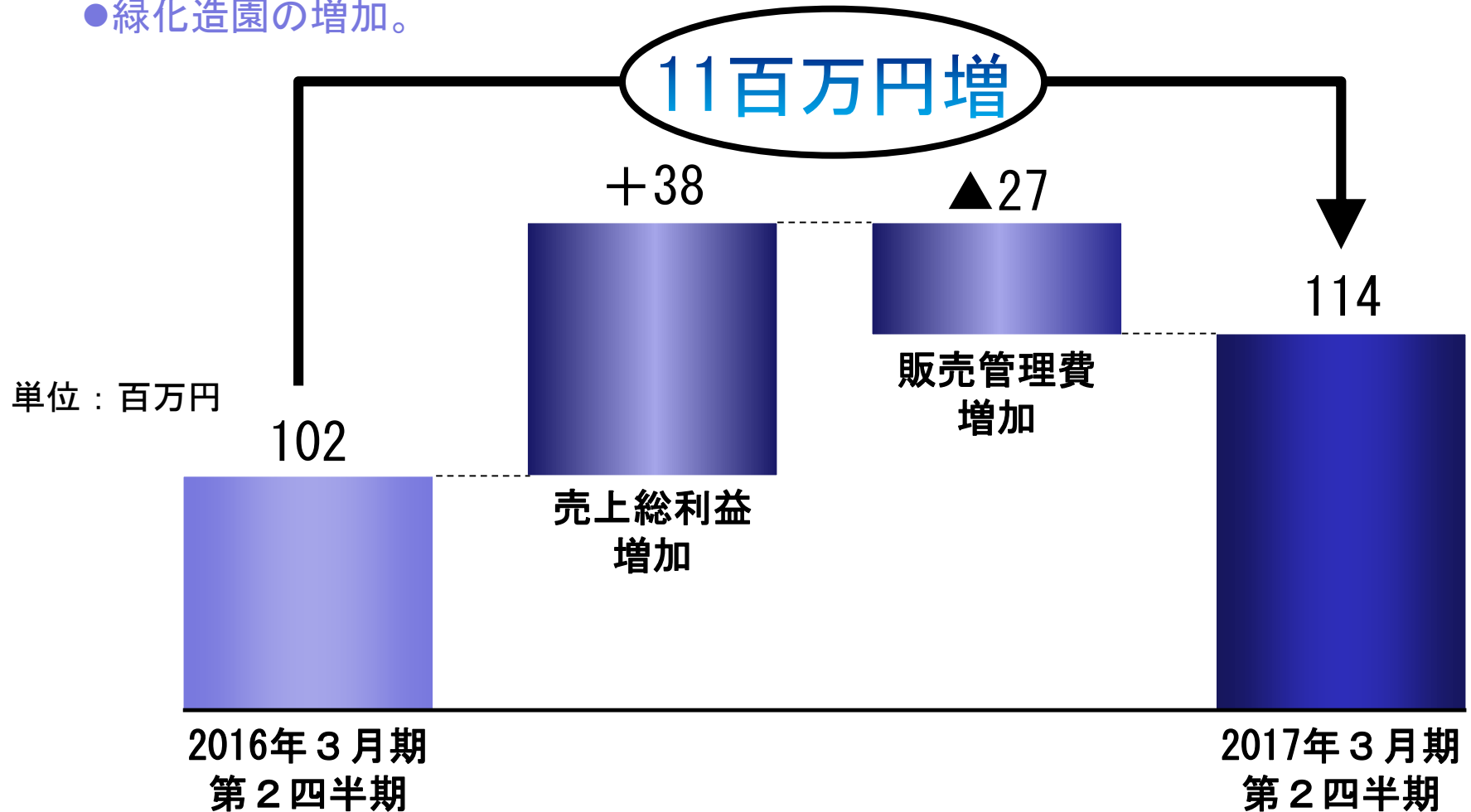
## 2017年3月期 第2四半期 営業利益増減分析

〔増加要因〕

- 販売品種構成の適正化による増加。
- 緑化造園の増加。

〔減少要因〕

- コンサル料および人件費増加。



## 2017年3月期 第2四半期貸借対照表

✓【負債の部】リファイナンスにより、長短借入金比率の改善。

✓【純資産の部】減資により、利益剰余金増加。

単位：百万円

	2016年3月期末		2017年3月 第2四半期末			
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
<b>資産の部</b>						
流動資産合計	4,272	69.7%	4,246	69.9%	△26	△0.6%
固定資産合計	1,859	30.3%	1,829	30.1%	△29	△1.6%
資産合計	6,132	100.0%	6,076	100.0%	△55	△0.9%
<b>負債の部</b>						
流動負債合計	3,681	60.0%	2,706	44.6%	△975	△26.5%
固定負債合計	1,200	19.6%	2,112	34.8%	912	76.0%
負債合計	4,882	79.6%	4,819	79.3%	△62	△1.3%
<b>純資産の部</b>						
資本金	700	11.4%	500	8.2%	△200	△28.6%
資本・利益剰余金	626	10.2%	862	14.2%	236	37.7%
その他の包括利益累計額	△78	△1.3%	△107	△1.8%	△29	△37.0%
非支配株主持分	2	0.0%	2	0.0%	0	8.2%
純資産合計	1,249	20.4%	1,256	20.7%	7	0.6%
負債及び純資産合計	6,132	100.0%	6,076	100.0%	△55	△0.9%



# 2017年3月期 第2四半期 キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

	2016年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期		
	金額	金額	増減額	増減率
営業活動によるキャッシュ・フロー	95	248	152	159.9%
投資活動によるキャッシュ・フロー	△36	△17	19	—
(フリーキャッシュ・フロー)	58	231	172	293.8%
財務活動によるキャッシュ・フロー	△195	△66	129	—
現金及び現金同等物の増減額	△127	153	281	—
現金及び現金同等物の期首残高	1,030	1,622	592	57.5%
現金及び現金同等物の四半期末残高	902	1,776	874	96.9%

	2016年3月期		2017年3月期	
	上期	下期	上期	下期(予想)
	金額	金額	金額	金額
設備投資	30	21	49	219
減価償却費	81	83	70	95
研究開発費	20	24	23	23

# 中期経営計画の進捗

## 中期経営計画の概要

### 経営ビジョン

既存の工業用機械刃物分野において、より高品質・高付加価値の刃物製造を目指す一方で、刃物製造技術を応用した非工業用機械刃物分野である超精密部品の加工においても他に抜きんできたメーカーとしての地位を確立し、引き続き超精密部品分野の構成比率を高めることを目標とする。

### 数値目標

連結	2016年3月期	2019年3月期 (計画最終年度)
売上高	4,910百万円	5,340百万円
営業利益 (率)	262百万円 (5.3%)	320百万円 (6.0%)
経常利益 (率)	184百万円 (3.8%)	270百万円 (5.1%)
親会社株主に帰属する当期純利益 (率)	139百万円 (2.9%)	200百万円 (3.7%)
自己資本比率	20.3%	25.0%以上

## 中期経営計画達成に向けて

- 以下の3点を重点テーマに取り上げ、達成に向けた施策を実施中。

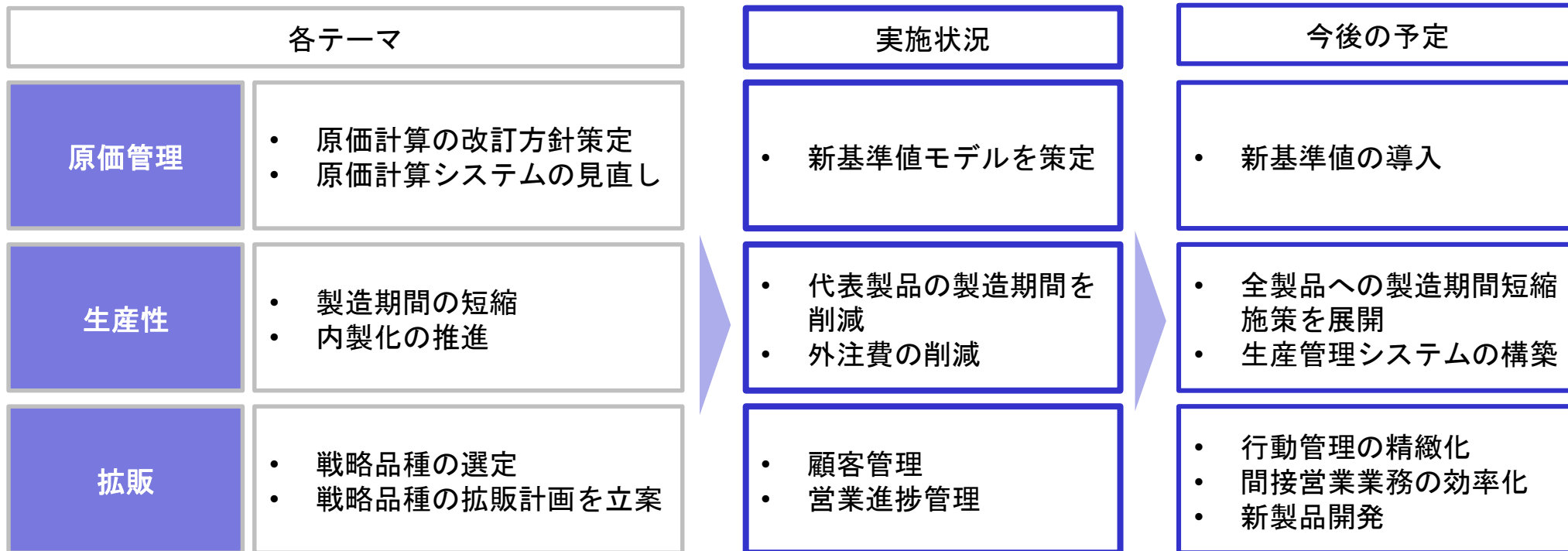
● 販売及び仕入の強化

● 短納期・少量多品種を強みとする生産体制の構築

● 資本政策と財務基盤の強化

# 改革委員会

- 2016年4月末より、改革委員会を設置し「原価管理」「生産性」「拡販」の3委員会を設け各々のテーマに取り組む。
- 10月末迄に以下を実施。11月以降は全社展開と進捗状況管理のフェーズへ。



## 資本政策と財務基盤の強化

- 財務基盤強化の為に以下の施策を実施。

実施施策		実施状況	
減資及び剰余金の処分	6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>資本金の額及び資本準備金の額をそれぞれ減少し、繰越剰余金の損失を解消。</li> </ul>	実行
シンジケートローンの組成	7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>リファイナンスによる財務基盤の安定化及び金融費用の低減。</li> </ul>	実行
自己株式取得	11月～	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年11月14日～平成29年1月31日の期間に40,000株（総額30百万円）を取得中。</li> <li>平成28年11月度取得実績 13,700株 9百万円</li> </ul>	実施中

### 当社株式の時価総額について

当社株式は、平成28年11月において時価総額が10億円以上（月末時価総額・月間平均時価総額）となり、東京証券取引所有価証券上場規定第601条第1項第4号a本文（東京証券取引所の定める株式上場廃止基準）に該当しないこととなりました。

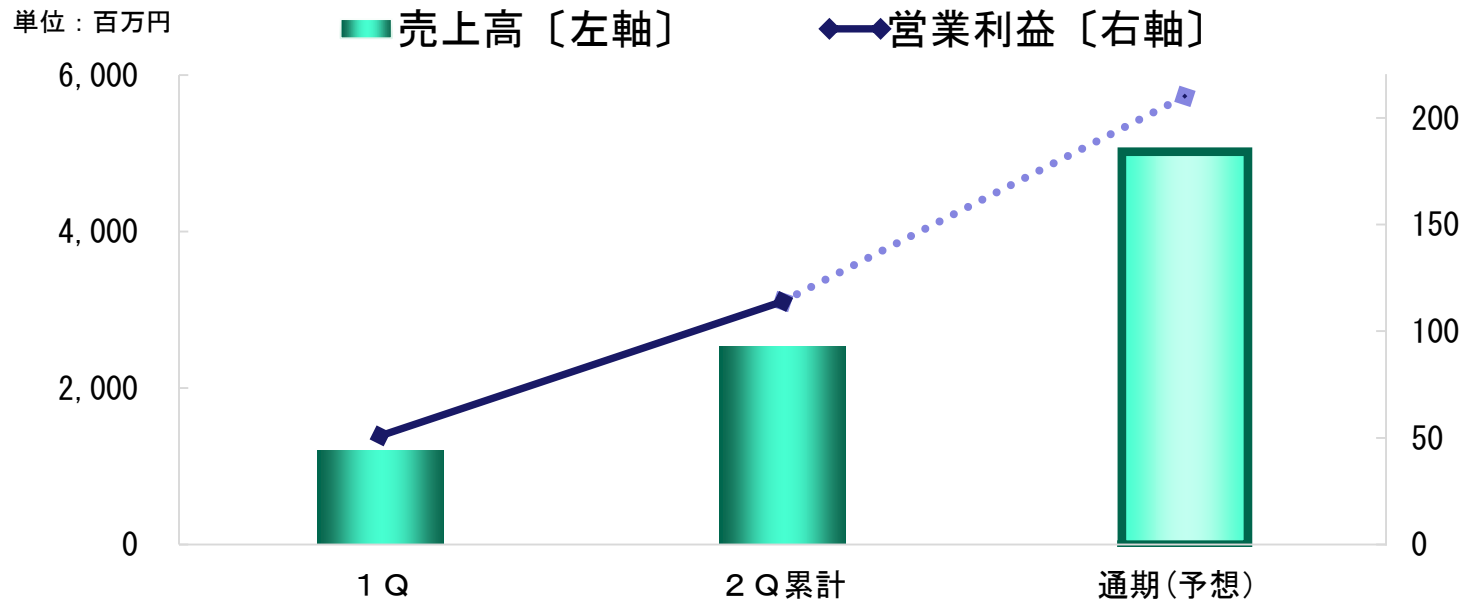


# 2017年3月期 業績予想

# 通期の見通しと業績予想

単位：百万円

	2017年3月期		
	1 Q	2 Q 累計	通期 (予想)
売上高	1,208	2,532	5,020
営業利益	51	114	210
経常利益	34	50	120
親会社株主に帰属する四半期 (当期) 純利益	26	36	100
1株当たり四半期 (当期) 純利益 (円)	17.00	22.87	100.06



# 株主還元

# 株主還元

## 基本方針

将来に向けた事業展開のため財務体質と経営基盤の強化を図り株主資本の充実に努めるとともに、収益動向などを総合的に勘案し業績に相応した配当を実施することを利益配分の基本に考えております。

## 配当

当期の配当につきましては、誠に遺憾ながら無配とさせていただく予定であります。今後は、期毎に利益を確実に計上し早期に復配できるよう取り組んで参ります。

# 新製品のご紹介

# 新製品「Labo-MSU（仮称）」開発に関するお知らせ

## 開発

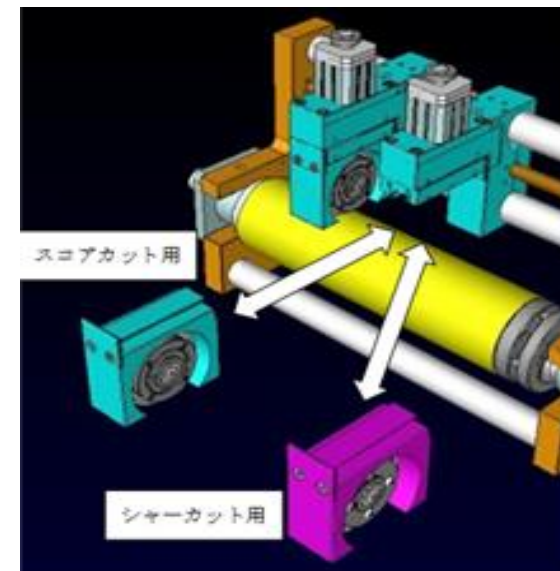
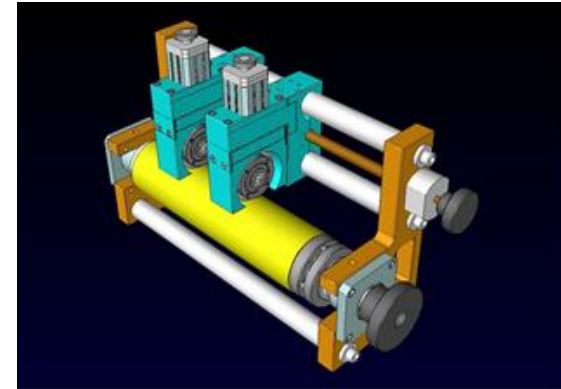
高い精度が要求される電子部材等の精密切断機試験ユニットを開発。

## ターゲット

企業の開発部門、大学や各種研究機関、各都道府県の工業技術センター等。

## 特徴

- 自社設備を止めずに、ユーザー要望の切断試験が可能。
- カートリッジ交換機能搭載により、容易に切り替え可能。
- 教育現場の教材としての展開も期待。





**本件に関するお問合せは、  
管理部 IR担当（022-358-8911）までお願いいたします。**

本資料は証券投資に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。また、本資料には、計画、方針、経営戦略などといった、将来に関する記述があります。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づく予測、計画等を基礎として作成しているものであり、不確定要素を含んでいます。従って、様々な要因の変化により、実際にはこれらの記述と異なる結果となる可能性があります。

そのため、実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定は皆様ご自身のご判断で行うようお願いいたします。また、投資に際して生じたいかなる損失に対し当社が責任を負うものではありません。

